

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 7 区分  
 【発行日】平成 17 年 11 月 10 日 (2005.11.10)

【公開番号】特開 2001-2331 (P2001-2331A)  
 【公開日】平成 13 年 1 月 9 日 (2001.1.9)  
 【出願番号】特願 平 11-175343  
 【国際特許分類第 7 版】

B 6 6 B 1/14

B 6 6 B 1/46

B 6 6 B 3/00

【F I】

B 6 6 B 1/14 G

B 6 6 B 1/46 A

B 6 6 B 3/00 K

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 9 月 22 日 (2005.9.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ホール側に設けられた操作盤の操作を検知してエレベータの運転モードを設定するエレベータ運転制御装置であって、

通常運転モードおよび視覚障害者運転モードを備え、

ホール側操作盤のストロークボタンの周辺部に設けられたタッチセンサへのタッチの後、前記ストロークボタンが押下されたことを検知すると、視覚障害者による操作と判定し、

運転モードを前記視覚障害者運転モードに設定することを特徴とするエレベータ運転制御装置。

【請求項 2】

前記視覚障害者運転モードは、

視覚障害者による操作と判定された前記ホール操作盤の操作が行われた時点で設定され、当該操作により呼ばれた方向のエレベータが到着し、その階床においてエレベータ内の操作パネルで押された行き先階ボタンの最上階または最下階に到着し、エレベータの扉が開き閉じるまで継続し、該扉が閉じた時点で解除される

ことを特徴とする請求項 1 に記載のエレベータ運転制御装置。

【請求項 3】

前記視覚障害者運転モードは、

(1) 通常運転時よりエレベータ扉の開放時間を延長する扉開放時間の延長機能、(2) 視覚障害者による操作と判定した階床において、一定時間エレベータ内の操作盤の行き先階入力待ちをする一定時間待機機能、(3) 視覚障害者による操作と判定した階床の乗り場において、エレベータが到着するまでの間に付加情報の音声案内を行う乗り場音声付加案内情報機能、(4) エレベータ内において、視覚障害者による操作と判定した階床から障害者運転モードが解除されるまでの間、付加情報の音声案内を行うエレベータない音声付加案内情報機能

のうちの少なくともひとつを実行するものである

ことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のエレベータ運転制御装置。

【請求項 4】

ホール側に設けられた操作盤の操作を検知してエレベータの運転モードを設定するエレベータ運転制御方法であって、

エレベータの運転制御装置は、

エレベータの運転モードを通常運転モードおよび視覚障害者運転モードに設定可能であり、

ホール側操作盤のストロークボタンの周辺部に設けられたタッチセンサへのタッチの後、前記ストロークボタンが押下されたことを検知すると、視覚障害者による操作と判定し、

運転モードを前記視覚障害者運転モードに設定することを特徴とするエレベータの運転制御方法。

【請求項 5】

前記視覚障害者運転モードは、

視覚障害者による操作と判定された前記ホール操作盤の操作が行われた時点で設定され、当該操作により呼ばれた方向のエレベータが到着し、その階床においてエレベータ内の操作パネルで押された行き先階ボタンの最上階または最下階に到着し、エレベータの扉が開き閉じるまで継続し、該扉が閉じた時点で解除される

ことを特徴とする請求項 4 に記載のエレベータの運転制御方法。

【請求項 6】

前記視覚障害者運転モードは、

(1) 通常運転時よりエレベータ扉の開放時間を延長する扉開放時間の延長機能、(2) 視覚障害者による操作と判定した階床において、一定時間エレベータ内の操作盤の行き先階入力待ちをする一定時間待機機能、(3) 視覚障害者による操作と判定した階床の乗り場において、エレベータが到着するまでの間に付加情報の音声案内を行う乗り場音声付加案内情報機能、(4) エレベータ内において、視覚障害者による操作と判定した階床から障害者運転モードが解除されるまでの間、付加情報の音声案内を行うエレベータない音声付加案内情報機能

のうちの少なくともひとつを実行するものである

ことを特徴とする請求項 4 または 5 に記載のエレベータの運転制御方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

本発明は、ホール側に設けられた操作盤の操作を検知してエレベータの運転モードを設定するエレベータ運転制御装置であって、通常運転モードおよび視覚障害者運転モードを備え、ホール側操作盤のストロークボタンの周辺部に設けられたタッチセンサへのタッチの後、前記ストロークボタンが押下されたことを検知すると、視覚障害者による操作と判定し、運転モードを前記視覚障害者運転モードに設定するエレベータ運転制御装置を提供する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

本発明は、視覚障害者による操作と判定された前記ホール操作盤の操作が行われた時点で設定され、当該操作により呼ばれた方向のエレベータが到着し、その階床においてエ

ベータ内の操作パネルで押された行き先階ボタンの最上階または最下階に到着し、エレベータの扉が開き閉じるまで継続し、該扉が閉じた時点で解除されるエレベータ運転制御装置を提供する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

本発明は、(1)通常運転時よりエレベータ扉の開放時間を延長する扉開放時間の延長機能、(2)視覚障害者による操作と判定した階床において、一定時間エレベータ内の操作盤の行き先階入力待ちをする一定時間待機機能、(3)視覚障害者による操作と判定した階床の乗り場において、エレベータが到着するまでの間に付加情報の音声案内を行う乗り場音声付加案内情報機能、(4)エレベータ内において、視覚障害者による操作と判定した階床から障害者運転モードが解除されるまでの間、付加情報の音声案内を行うエレベータない音声付加案内情報機能のうちの少なくともひとつを実行するエレベータ運転制御装置を提供する。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

本発明は更に、ホール側に設けられた操作盤の操作を検知してエレベータの運転モードを設定するエレベータ運転制御方法であって、エレベータの運転制御装置は、エレベータの運転モードを通常運転モードおよび視覚障害者運転モードに設定可能であり、ホール側操作盤のストロークボタンの周辺部に設けられたタッチセンサへのタッチの後、前記ストロークボタンが押下されたことを検知すると、視覚障害者による操作と判定し、運転モードを前記視覚障害者運転モードに設定するエレベータ運転制御装置を提供する。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

本発明は更に、視覚障害者による操作と判定された前記ホール操作盤の操作が行われた時点で設定され、当該操作により呼ばれた方向のエレベータが到着し、その階床においてエレベータ内の操作パネルで押された行き先階ボタンの最上階または最下階に到着し、エレベータの扉が開き閉じるまで継続し、該扉が閉じた時点で解除されるエレベータ運転制御装置を提供する。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

本発明は更に、(1)通常運転時よりエレベータ扉の開放時間を延長する扉開放時間の延長機能、(2)視覚障害者による操作と判定した階床において、一定時間エレベータ内の操作盤の行き先階入力待ちをする一定時間待機機能、(3)視覚障害者による操作と判定した階床の乗り場において、エレベータが到着するまでの間に付加情報の音声案内を行う乗

り場音声付加案内情報機能、(4)エレベータ内において、視覚障害者による操作と判定した階床から障害者運転モードが解除されるまでの間、付加情報の音声案内を行うエレベータない音声付加案内情報機能のうちの少なくともひとつを実行するものであるエレベータ運転制御装置を提供する。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 0】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 9

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 7】

【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0031  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正18】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0032  
【補正方法】削除  
【補正の内容】